

質問・意見 等	回 答
<p>(森委員)</p> <p>●資料 1 - P 3 4 図表 5 8 ・ P 3 9 図表 6 6 (質問及び意見)</p> <p>・データとして使用している「熊本県女性労働実態調査」は 5 年毎に調査が行われているようだが、提示されている最新データは「平成 2 6 年(2014 年)」になっているため、令和元年(2019 年)のデータはないか？ 何らかの事情で調査が行われていないなどの場合、注記があった方がよいと思われる。</p>	<p>当該調査は 5 年毎に実施され、「男女共同参画年次報告書」における「職場でセクハラを受けた経験のある女性の割合」及び「母性保護制度の規定の有無」を把握するためのデータとして、例年引用してきたところですが、平成 2 6 年(2014 年)の調査をもって本調査は終了となりました。 御意見のとおり、図表の説明として、以下の注記を付すこととします。</p> <p><u>※本調査は平成 2 6 年の調査をもって終了</u></p>
<p>(森委員)</p> <p>●資料 1 - P 2 4 図表 3 9 (意見)</p> <p>・図表の下部に「※20 代～50 代に関しては分析にあたり必要な回答数を割り込んでおり」と注記しているが、各年代の回答数が具体的にいくつだったかは記載されていない。 パーセントだけでなく回答数も重要な情報であるので、今回でなく今後で構わないが、この部分に限らず図表にパーセントだけでなくできる限り回答数も記載した方がよいと思われる。 記載の仕方に関しては、図表左部の「全体」、「20 代」、「30 代」などのところに「全体(1,839 人)」、「20 代(121 人)」、「30 代(322 人)」のような感じで書いたりすることが多い。内閣府の調査結果の表示の仕方などが参考となると思う。</p>	<p>今年度については、全ての図表に係る回答数を把握し、記載することが困難ですが、次年度以降の報告書作成にあたっては、データを所管する所属等と調整のうえ、パーセントと回答数の併記について検討してまいります。</p>